

- 2 3 厚木から羽ばたく 熱気人
- 4 5 新春対談 夢に向かって 永里3きょうだいに聞く
- 6 8 街の話題/コラム/お知らせ

## 笑顔の一年に



源気さん

優季さん

亜紗乃さん

新型コロナウイルス感染症と共にあった2020年。外出自粛やイベントの中止、大切な人に会えない日々など、気持ちがあふく出来事が続く一年でした。そんな中、サッカー選手として国内外で活躍してきた3人が、私たちに明るい話題を届けてくれました。

厚木のサッカーチーム「はやぶさイレブン」でプレーする源気さん、フットゴルフ選手に転向した亜紗乃さんは、市内で暮らしています。昨年9月、二人の下に、米国のプロチームで活躍している優季さんが一時帰国し合流。生まれ故郷に3きょうだいが集いました。源気さんと共に男子チームでプレーした優季さんの姿は、多くのメディアに取り上げられ、3人が開いたスポーツ教室では、たくさんの子どもの笑顔がはじけました。

困難に直面しても、自ら未来を切り開いてきた3人。これからもそれぞれのステージで、挑戦を続けていきます。《4・5面に関連記事》

未来を開く  
永里  
3きょうだい

撮影場所：荻野運動公園競技場

### 厚木から羽ばたく

# 熱気人



それぞれの個性や特徴を生かし、夢に向かって歩み続ける「熱気人」たち。好きなことに熱中し、たゆまぬ努力を重ねる姿は、明るい未来を映し出している。

● 広報課 ☎ 2512040

## 自分からのアプローチで夢をつかむ

「どうも！あゆタロウチャンネルのあゆタロウでございます。ビデオカメラに向かって滑らかに話し出すと、普段と変わらない面持ちで撮影が始まる。「あゆタロウ」として動画配信サイト「YouTube」などで活躍する石黒さん。2016年に配信を始めて以来、ソフトテニス関連の動画を投稿するクリエイターだ。



チャンネル登録者数30万人を目指して活動中

石黒さんがソフトテニスを始めたのは、小学5年生の時。大学卒業後も競技に打ち込み、日本リーグや国民体育大会などで実績を残してきた。しかし、徐々に試合で結果が出せなくなり、26歳で選手を引退。目立ちたがりな性格とインターネットビジネスに興味があったことをきっかけに、この世界に入った。動画編集の知識は全くなかったが、貯金をはたいてパソコンやビデオカメラなどの機材を買そろえた。

初めはカメラの前でうまく話せず、台本を棒読みしていた。ロボットのようには話す姿は人の目には留まらず、知人や家族が見るだけで再生回数は数十回。それでも毎日のように投稿を続けた。知名度を上げるため、厚木や海老名で1日に2千枚の名刺を配り歩いた日もあった。

転機となったのは、配信を始めて6カ月経った頃。ずっと打ち込んできたソフトテニス関連の動画を投稿したことであった。ボールにどのくらい空気が入るか試した動画が好評で、再生回数が増え始めた。他のクリエイターにコラボレーションを持ち掛けた動画では、200万回以上の再生を達成。チャンネル登録者数も目標の千人を超えた。

石黒さんは「思い入れのあるスポーツに広がり、高い技術を学びたいと視聴者からメッセージが届いた。小・中学生や保護者などを中心に注目が高まり、ソフトテニスの指導動画を投稿すると数万回再生されるようになった。『去年は感染症の影響で、自分の給料がない月もあった。今の仕事は再生回数が収入に直結し、生活が約束されていないことを実感した。いつまでも体を動かしてソフトテニスを教える動画は撮れない。だからこそ指導動画の他に、ソフトテニスとバラエティを掛け合わせた動画なども投稿し、どんな内容でも「あゆタロウ」を見てもらえるよう日々、新しいことに挑戦している。『将来はテニスコートを造りたい』と夢を語る石黒さん。多くの人にソフトテニスの面白さを伝えたい。思いは誰よりも強い。そんな姿がたくさんの人の心をつかんでいる。



## 動画クリエイター あゆタロウ 石黒 湧己さん

**プロフィール**  
1990年生まれ。毛利台小・玉川中学校出身。東京国体7位。UUUM(株)所属。2020年8月チャンネル登録者数10万人を突破。クリエイター名「あゆタロウ」は市マスコットキャラクター「あゆコロちゃん」から名付けた。

## 1111の作品に 思いを込める

樹脂製の人形を1ミリ動かし、カメラのシャッターを一枚切る。幾度となく繰り返し、わずかにポーズの違う数万枚の写真データをつなぐと、人形たちは命を宿していく。細見さんは、ストーリーの設定から人形制作、撮影、編集までを一人で手掛けるコマ撮りアニメーター。2人の子どもの育てながら、自宅で創作活動に取り組んでいる。

幼い頃から、何かを作るのが好きだった。父親と粘土遊びをした記憶は、今も楽しい思い出として残っている。細見さんがコマ撮りアニメと出会ったのは、21歳の時だった。美術大学で受けたアニメ製作会社の講義。粘土などで作った人形を使い、物語が生まれることに強く引かれた。美術大学に入る前、親に言われるがまま進んだ大学の医学部で精神的に不安定になり、退学していった細見さん。幼い頃の楽しかった記憶を手繰り寄せるかのように、創作に没頭した。「作っているときは、初めて一人の人間として生きている実感があつた」。卒業後は製作会社に1年間勤め、結婚・出産をきっかけに一時、創作から離れた。子育てをしながら続ける難しさを感じ「悔しいけれど



## コマ撮りアニメーター 細見 佑樹さん

**プロフィール**  
1986年生まれ。岡田在住。2017年、背景の制作から撮影などを手掛けた短編アニメ「aiseki MOGOL GIRL」がTOKYO MXなどで放送。近年はメディアを中心に活動の場を広げている。

もう終わりがなと思った」と振り返る。そんな細見さんが再び創作の世界に戻りかけたきっかけになったのが、市が開いていた映像コンテストだった。子育てに追われる日々の中で制作した、市のマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」を題材にした作品が奨励賞に選ばれた。「自分が自分であるためにやりたいことを、家族のために我慢しなきゃ」と思っていた。受賞して「やっ」と許された気がした。入賞後、自宅で仕事をする方法を模索するため、市の起業スクールを受講。今は、企業や自治体からの仕事を受けている。「作品を見返すと、当時の心情をはっきりと思い出す」と話す細見さん。親との折り合いの悪さや、自分



2年前には、市のハロウィンイベントのPR映像を作成した



## 版画家 田中 里奈さん

**プロフィール**  
1981年生まれ。森の里在住。美術団体「東光会」所属。日本最大級の総合美術展「日展」で2014・17年に特選、20年度審査員。制作の傍ら、木版・水彩画の教室を主宰している。



色は細かく決めず、その日の気分で塗る

## 好きなものにとことん取り組む

画面いっぱい描かれた、力強い動物や魚、人の表情。大胆な構図と生き生きとした線で表現された生命力は、今にもキャンバスからあふれ出しそう。

子どもの頃からものづくりが好きだったという田中さん。興味を持ったものにとことん取り組む性格で、学校の帰り道には、植物や虫、落ちてくる物の観察に夢中になり、片道十分の通学路に1時間掛かった日もあった。両親とよく美術館を訪れ、絵画は身近だったが、この道を進むと決めたの

は18歳の時。浪人中、受験勉強の息抜きにと応募した市内の展覧会で入選したのがきっかけだった。小学生の時から年賀状用に使っていた彫刻刀とばねで人物の抽象画を制作し、評価された。中学・高校と美術部で活動してきたが、賞をもらったのはそれが初めて。認められたことで自信がつき、両親の反対を押し切って芸術の道を選んだ。田中さんは「私は、同時にたくさんすることを頑張れない。好きなことをやる以外に選択肢はなかった」と当時を振り返る。そこから独学で技法や画材を学び、高校時代の恩師に師事して制作を続けている。

田中さんが得意とするのは、木の板と和紙を使う木版画だ。写実的な絵よりも、絵の具のかすれや一つ一つ違う木目など、偶然性を生かしながら仕上

げるのを好む。さらに版画は彫る板と刷り上がり反転し、木や紙はその日の気温・湿度でも表情が変わる。「紙をめくるまでどんなものができるかわからない。そのワクワク感が楽しい。作品の売り上げだけで生活するのは難しい中、田中さんを突き動かすのは、「楽しい」というシンプルな気持ちだ。「言葉で伝えるのはあまり得意じゃないけど、芸術なら素直に表現できる。作品に込めた自分の気持ちが他人に伝わり、それは限らないけれど、違った見方をしてもらえないのもまた面白い。自然の素材が持つ偶然性や、見た人の気持ち、自分では採れないものとの出会いを、田中さんは心から楽しんでいる。コロナ禍で、芸術は不要不急なものという認識が強まった。「確かに芸術は、命に直接関わるものではない。でも私は、描かなければ生きていけません。あんまり意味がなくなってしまう」と、柔らかい口ぶりで話す田中さん。作品を彫り進める指先は力強く、迷いがなかった。

## 田中さんの 作品を展示

**期間** 1月4～31日  
**場所** あつぎ市民交流プラザ  
**費用** 無料  
▼制作現場の動画を1月4日から市HPで公開





狹野運動公園の競技場で抱負を語り合った



緊急事態宣言中、チームの地域貢献活動で飲食店のPRを支援

源気 サッカーに限らず、何か夢になる人は成長できるよ...

源気 子もたちに体を動かす楽しさを知ってもらおう...

源気 これまで、厚木の皆さんからたくさん声援をいただけて...

市長 明けましておめでとうございませぬ。市民の皆さんにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

源気 昨年加入して1年間プレーしましたが、生まれ育った地元でサッカーをできるやりがいとはとても大きなもの...

市長 ジェンダーを超えた挑戦は、世界中で話題となっていましたね。男女格差の問題を見つめ直すメッセージとなったのではないのでしょうか。

市長 皆さんにとって、厚木はどんな場所ですか。優季 遊ぶ場所や飲食店が多く、自然や温泉もあって、遠出しなくても楽しめるまちだと思います。

市長 スポーツを通してコミュニケーションを築いていくことを提供できたらうれしいです。

2021 新春対談 夢に向かって ひたむきに挑戦するアスリートの姿は、いつの時代も夢や希望をもたらします。

はやぶさイレブンとは？ 市内でサッカースクールなどを展開するSCDスポーツクラブが2019年に発足したクラブチーム。

広報あつぎお年玉企画 直筆サインをプレゼント 永里さんたちの直筆サイン入りボールを3人にプレゼントします。

永里選手と体を動かそう 街の伝言板 パルシュピール体験会 ボールを使って運動を楽しむニュースポーツを永里きょうだいがお教えます。

サッカー選手 永里源気さん(34) 1985年生まれ。鳥尾在住。鳥尾小・狹野中学校、厚木北高校出身。

サッカー選手 永里優季さん(33) 1987年生まれ。米国在住。鳥尾小・狹野中学校、厚木東高校出身。

フットゴルフ選手 永里亜紗乃さん(31) 1989年生まれ。鳥尾在住。鳥尾小・狹野中学校、厚木北高校出身。

厚木市長 小林 常良

## 病院での火災に備えて

市立病院で防災訓練を実施



はしご車を使った救助訓練

市立病院で11月に、病院職員200人と消防隊員21人が火災を想定した防災訓練を実施しました。

当日は消火・通報・避難訓練や情報伝達の確認などに加え、寝たきりや歩けない患者を、はしご車で4階から避難させる訓練に取り組みました。消防車両を使った訓練は病院開設以来初めて。万が一の時に患者を守るよう、全職員が防災への意識を新たにしました。

長谷川院長は「消防との合同訓練は貴重な機会です。いい経験になった。災害時に焦らず行動するため、普段から動きや対応を職員全員が考えるように徹底していきたい」と話しました。

## 学生が育てた野菜を地域のために

フードバンクあつぎで東京農大の野菜を無償配布

「野菜を食べて皆さんが少しでも元気になってくれたら」と話し、野菜を受け取った市内の大学に通う女性は「野菜は高いのでうれしい。お弁当に使いたい」と笑顔を見せました。



上條さん(左)から野菜を受け取るHeart34のスタッフ

東京農業大学の学生が11月に、フードバンク事業に取り組みNPO法人Heart34に野菜を寄付しました。

野菜は、収穫祭で配布するために学生が育てたもの。感染症の影響で中止となったため、「地域のためになれば」と、実行委員会が寄付を提案しました。ネギやダイコン、ニンジンなど車両3台分の野菜が後日、生活に困っている家庭や学生に無償で配られました。

実行委員長の上條薫さん(20)は「野菜を食べて皆さんが少しでも元気になってくれたら」と話し、野菜を受け取った市内の大学に通う女性は「野菜は高いのでうれしい。お弁当に使いたい」と笑顔を見せました。

## 卒業への思いを込めて

玉川小学校6年生が伝統のせんみ凧を制作



真剣に骨組みを作る児童たち

玉川小学校恒例の卒業制作であるせんみ凧作りで、6年生28人が取り組みました。

感染症の影響で開催が危ぶまれましたが、児童や地域などの強い思いから、徹底した対策のもとで実現。二つの教室に分かれ、地元のせんみ凧保存会のメンバー6人から手ほどきを受けながら、竹と糸を使って骨組み作りに取り掛かりました。1月中旬に完成させ、2月にたこ揚げ大会を開催します。

たこ作りに取り組んだ阿部可采さんは「作るのを楽しみにしていたので、できてうれしい。糸を結ぶ作業は難しいけれど、うまく飛ぶように丁寧に作りたい」と笑顔を見せました。



## 新しい総合計画へ

第1期基本計画原案へ答申を提出

まちづくりの指針となる次期総合計画の策定に向け、市民や学識経験者で構成する総合計画審議会が答申書を提出しました。

新しい総合計画は、12年間にわたる計画として4月からスタートします。審議会では、前半6年間の施策の方針や施策体系を定める第1期基本計画原案に対し、体系の構成や施策の評価方法などを話し合い、意見をまとめてきました。

審議会の中村会長は「さまざまな見地から議論を深めた。まちづくりを担う市民の声として計画に生かしていただきたい」と話し、答申書を小林市長に手渡しました。今後市では、答申書を踏まえて計画の策定を進めていきます。



小林市長に答申書を提出した中村会長(中央)と山田会長職務代理者(左)

## ATSUGI X NEW ZEALAND ホストタウン通信

離れていても、歌で一つになろう!  
ONLINE NZ PROJECT ~Singing as One~

感染症の影響で中止となった高校生対象の留学プログラム「FLY TO NZ PROJECT」への参加予定者9人と、留学先となっていたベイフィールドハイスクールの生徒が昨年、3日間のオンライン交流を実施しました。



NZの高校生とオンライン通話

交流では、ハイスクールの生徒から二つの歌を教わりました。NZの国民的フォークソング「Tutira Mai Nga Iwi」と、伝統文化の一つであるマオリのラブソング「Pokarekare Ana」。最終日には全員で合唱し、遠く離れていながらも交流を楽しみました。

今年もオンラインなどを活用し、ホストタウンとの交流を続けていきます。



▲交流の様子を市HPで公開

東京オリンピック・パラリンピック(東京五輪)に向けて、ホストタウンとなったニュージーランドとの交流事業を紹介します。

## 市議会から



議長 寺岡 まゆみ

明けましておめでとうございませう。日ごろから市議会へご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が拡大し、市民の皆さんの生活や地域経済などへ大きな影響を与えました。市議会では、感染拡大防止や経済対策に係る補正予算の議案について、通年会期の利点を生かし速やかに本会議を開き、審議してまいりました。

いまだ終息が見えない中、皆さんの思いをしつかりと受け止め、市と互いに知恵を出し合いながら、安心・安全で活力と思いやりのある地域社会の実現に向けて、力を尽くしてまいります。

本年が、実り多き年になることを願うとともに、皆さんのご健勝を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

## 市議会の活動

**議会の様子を映像で配信**

インターネットで議会の様子を生中継し、過去の会議も、議事録ができるまでの間は録画放送をしています。パソコンやスマートフォンから観覧できます。

開催日程は市議会だよりや市議会HPに掲載。

厚木市議会 インターネット中継 [検索](#)



▲定例会議  
昨年の12月定例会議では、感染症対策などについて活発な議論が交わされた。

▶議員研修会  
災害時の議員の役割や政策条例など、さまざまなテーマで毎年研修を実施。



# タウンガイド

1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
2月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号  
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ  
 ㊚=講座予約システム(㊚印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「㊚」印と記されたものは、申し込み可)  
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

## あつぎのしゃしん。



「文化会館の紅葉」

#12月8日撮影  
 #モミジ  
 #水面に映る  
 #niceatsugi  
 広報課公式インスタグラムで公開中



### 新型コロナウイルス感染症に関する県の相談窓口

発熱等診療予約センター	新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル
発熱などの症状があり、かかりつけ医で受診できない方(毎日9~21時) ☎(0570)048914	感染の不安のある方、健康・医療のことなど(24時間対応) ☎(0570)056774

新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

### 森林づくり体験教室「木こり体験・シイタケ栽培」

2月6日、9~16時。七沢地区の森林。間伐体験とシイタケ栽培の原木「ほだ木」作り。小学生以上30人(小学生は保護者同伴)。540円(材料費、保険料)。☎直接、電話またはファクスに〒住所、氏名、年齢(学年)、電話番号を書き、1月15日までに〒243-8511農業政策課 ☎225-2351・㊚223-0174へ。抽選。

### 七沢自然ふれあいセンターの催し

- 親子森のようちえん・冬  
2月11日、10~15時。森探検、森遊び、たき火でおやつ作りなど。市内在住の未就学児と保護者50人。500円(材料費、保険料)。3歳未満は45円。☎㊚1902018
- ◆キッズデイキャンプ  
2月①14日②20日、9時30分~19時。草木染め、野外炊事、自然散

策など。市内在住の小学1~3年生各回24人。1500円(材料費、保険料)。☎㊚①1902005②1902007

いずれも七沢自然ふれあいセンター。☎直接、電話またはファクスに催し名、〒住所、参加者全員の氏名(ふりがな)、性別、年齢、学校名、学年、電話番号、◆は希望日を書き、1月15日までに七沢自然ふれあいセンター ☎248-3500・㊚248-4708へ。抽選。



### 特効!糖尿病予防マル秘テク講座

2月9日、14時~15時30分。睦合北公民館。保健師や栄養士から高血

## 2020年 ポスターコンクール受賞作品

**文化財保護ポスター**  
「わたしたちの文化財」部門テーマ2

👑 **最優秀賞**  
善 アンジェリーナさん  
(藤塚中3年)  
☎文化財保護課 ☎225-2509

**明るい選挙啓発ポスター**  
神奈川県審査小学校の部

👑 **優秀賞**  
沼田 愛睦さん  
(依知小6年)  
☎選挙管理委員会 ☎225-2490

**ホット** インターネットモニターからの意見を紹介

**メール** Hot E-Mail

インターネットモニター募集中  
厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

12月1日号「広報あつぎ」を読んで

- ◆道祖神に込められた思いを知れた/70代男性
- ◆コロナで苦しんでいるのは自分だけじゃないので協力し合いたいと思った/20代女性
- ◆皆さんがコロナ禍に何を感じて生活しているのか知れて良かった/40代女性
- ◆私たちの祖先がどのように感染症と戦ってきたのか興味を持った/60代男性
- ◆RPAを積極的に活用して業務の効率化に努めてもらえたらと思う/60代男性
- ◆今年もイルミネーションを楽しみたい/50代女性

あつぎ元気 Wave

## 映像で市の情報を発信中

厚木の魅力や市のお知らせを、テレビやインターネットで見られる情報番組「あつぎ元気Wave」で発信しています。地域の身近な話題をぜひチェックしてください。

番組を見るには?

- 厚木伊勢原ケーブルネットワーク 11チャンネル(※契約が必要) 毎日①12時~②19時30分~③22時45分~(各15分)
- 市HP 最新の番組に加え、過去に放送した内容も公開しています。 毎月1・16日に放送内容を更新します。

1月の番組

1日~

- ◆小林市長の年頭あいさつ
- ◆厚木から羽ばたく熱気人

16日~

- ◆市民を守る厚木消防
- ◆相模里神楽写真展を紹介

☎広報課 ☎225-2040

糖を防ぐコツを学ぶ。血管年齢・骨健康度測定あり。市内在住の40~64歳15人。無料。☎1月4日から健康づくり課 ☎225-2201へ。先着順。

### 現役薬剤師が教える! くすりのはなし

2月3日、10~11時。あつぎ市民交流プラザ。薬の基礎と飲み方を学ぶ。市内在住の方20人。無料。☎1月20日までに国保年金課 ☎225-2125へ(市HPからも申し込み可)。抽選。

### あそぼう!まなぼう! まめの木タイム

1月26日、11~12時。緑ヶ丘児童館。発達に関する講座や親子触れ合い遊びなど。乳幼児と保護者20組。無料。☎当日直接会場へ。先着順。☎療育相談センター ☎225-2252。

### 2021年度の市民税・県民税申告相談を完全予約制に変更

毎年2月上旬~3月上旬に公民館を巡回して実施する申告相談は、感染症拡大防止のため完全予約制となります。詳細は広報あつぎ1月15日号に折り込む「市民税・県民税お知らせ号」と市HPに掲載。☎市民税課 ☎225-2010。

### フードバンクの活動に協力を

食品ロスを減らすため家庭で余った食品を募集し、必要な家庭に無償で提供します。《日時》1月20日、10~15時《会場》あつぎ市民交流プラザ。☎当

日直接会場へ。☎Heart34 ☎220-5088 (10~16時)。

### 消防出初め式の縮小開催

感染症拡大防止のため、出初め式の消防演技はありません。1月10日は各消防団施設で7時にサイレンが鳴ります。☎警防課 ☎223-9368。

### みんなの声で ちゅうまち

- 《意見交換会》
  - 国土強靱化地域計画  
1月8日、19~20時。市役所本庁舎。手話通訳・要約筆記あり。☎電話またはファクス、Eメールに氏名、〒住所、電話番号を書き、1月6日までに危機管理課 ☎225-2190・㊚223-0173・✉0900@city.atsugi.kanagawa.jpへ。
  - 《パブリックコメント》
  - 第2期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略  
☎企画政策課 ☎225-2455。
  - 厚木北公民館建て替えに関する整備方針  
☎社会教育課 ☎225-2511。
  - 第2期消防力整備計画  
☎消防総務課 ☎223-9366。
  - ◆第3次健康食育あつぎプラン  
☎健康長寿推進課 ☎225-2174。
- いずれも《閲覧期間》1月4日~2月3日《閲覧場所》各課窓口、市政情報コーナー、各公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、あつぎ市民交流プラザ、中央図書館、市HP(◆は子育て支援センター、老人福祉センター寿荘、市立病院にもあり)《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。

**編集後記** 市長と対談していただいた永里源気さんを、昨年の緊急事態宣言中にも取材しました。外出自粛や休業要請で打撃を受ける市内飲食店のために、テイクアウトの情報を拡散する活動などに取り組んでくれたはやぶさイレブン。選手たちにも生活がある中、地元を思う心遣いにとっても勇気をもらいました。Jリーグ参入を本気で目指して躍動する永里さんたちを、ホームタウンとして、これからも応援していきたいです/佐久間

# 1月11日は成人の日 未来はきっと、 明るい。

今年、市内では2289人の新成人が新たな門出を迎えます。2021年の幕開けは、エネルギーにあふれた新成人たちにエールを送りましょう。

☎青少年課 ☎225-2580

＼新成人に聞きました／

## どんな大人になりたいですか？

成人式実行委員の皆さんに、目指す“大人”の姿を聞きました。※()内は出身校



鈴木 杏奈さん(厚木中)



塩川 将鷹さん(睦合中)



菅 みのりさん(荻野中)



野口 拓海さん(睦合東中)



田中 杏佳さん(南毛利中)

## 自然歳時記

### ●ウシハコベ● ナデシコ科

名の由来は、ハコベよりも大型なため、頭に牛がついてウシハコベ。雌しべの花柱は5本。花弁も5枚だが、切れ込みが深く10枚に見えるのが特徴／あつぎこどもの森公園で見つけた。

写真・文/吉田文雄



春の七草の「はこべら」は、ハコベのことで、無病息災を願い1月7日に食べる七草がゆの食材として親しまれている。

ハコベの仲間のウシハコベは、高さ20～50センチほどでそれより大きい。暗紫色の茎は細いが意外に強く、冬の寒さに負けず小さな花をたくさん咲かせていた。

清楚な白い花をよく見ると、大小の宝石のような朝露が雄しべや雌しべ、そして花弁にもびっしりと付いてとてもきれいだ。昔、キャンプでウシハコベのおひたしを食べたが、まるでホウレンソウのような味でおいしかった。

今年は丑年。ゆっくり、しっかりと、焦らず進みたいと思う。

厚木市の人口  
(12月1日現在)

🏠 世帯数 10万1137世帯 (前月比59世帯増)

👤 人口 22万3701人 (前月比5人増) 男11万5656人・女10万8045人